

■人事部

1. 2017年度計画目標

【人事部人事課】

1) 財務の視点

- ①新人事管理システム（人事・給与管理管理統合システム）の次年度4月本格稼働に向けた作業体制の整備及び導入作業の実施。
- ②退職金給付債務計算システムの導入による適正な「退職金給付引当金」の算出を行う。
- ③厳しい雇用環境に対応して事技系列の初任給引き上げ及び給与体系の見直しの実施。
- ④従来の社宅運用の課題抽出を行い、より効率的な社宅運用方法の検討及び運用コスト削減を行う。
- ⑤看護学生に対する奨学金貸与に関し奨学金返還対象者の発生リスクを抑制するため、貸与条件、を含め学校法人と連携を強化する。

2) 顧客の視点

- ①院内のハラスメント発生時に対応できる体制づくりを進める。
- ②健保組合との連携により、メンタルサポートの範囲（事業所）の拡大を検討する。

3) 内部プロセスの視点

- ①パート労働法改正を踏まえた「パートタイム職員就業規則」の見直しを行う。
- ②無期転換ルール（改正労働契約法）への実務的対応可能な関連諸規則を整備する。
- ③看護師配置7対1体制の維持及び手術室等の業務拡大に向け質・量的確保を目指す。
採用目標数170名を確保する。「看護師採用推進室」共通目標
- ④厳しい雇用情勢環境下における事技スタッフ、医療技術スタッフの確保に向けた戦略的なリクルート活動体制を構築する。
- ⑤幕張事業部における基本的な人事関係マニュアルの検証と統一化を図る。

4) 学習と成長の視点

- ①ストレスチェック制度運用の理解
- ②労働契約法の改正（無期転換ルール）の理解
- ③外国人採用と在留資格の理解
- ④確定拠出年金制度についての理解
- ⑤その他教育訓練計画に基づく研修の実施

【人事部職員厚生課】

1) 財務の視点

- ①定期的な健診事後フォローを面談指導及び受診勧奨の強化。
- ②健康リスクの高い職場の優先に品質管理部と連携を図りながら計画的に巡視範囲を拡大していく。
- ③安全衛生教育の推進。

2) 顧客の視点

- ①長時間労働者の健康管理の推進及び労務環境の原因調査。
- ②職員に対するストレスチェックの受検環境の整備と受検率のアップの推進。
- ③安全衛生ニュースレターの発行等により健康教育の実施。
- ④健保組合との連携によるメンタルサポート体制の範囲の拡大の検討を行う。

3) 内部プロセスの視点

- ①インフルエンザワクチン接種のWEB予約の実施。
- ②感染予防接種の必要性の周知と接種勧奨による実施率の向上。
- ③業務手順書の最新版への更新を実施。

4) 学習と成長の視点

産業保健活動に関する専門知識の習得

2. 2016年度評価

【人事部人事課】

1) 財務の視点

- ・新人事管理システム導入移項に伴う機能上の課題を23項目抽出し、プロジェクトメンバーによる定期的な検証作業を行うと同時に、全体的な導入スケジュール工程の検証を行った。
- ・看護学生の奨学金に対する認識を深める対策として、奨学金貸与対象の看護大学生に対して奨学金制度、貸与契約条件等について説明会を実施し再認識の機会とした。次年度以降も説明対象学生の拡大を図り実施予定。
- ・委託運営事業（鴨川市）の「病児・病後児保育」の運用体制として、適正な人員配置及び運用規則を整備し、287名の病児・病後児の預かり実績があった。

2) 顧客の視点

- ・ハラスメント規程案の検討を行ったが、受付窓口を含めた運用体制に課題があり、本年度はマタニティハラスメントの防止対策を行い、関連規定を整備した。
- ・ストレスチェック実施規則を整備し、全職員対象にWEBによる回答システムにより実施し、対象者の74%の実施率となった。

3) 内部プロセスの視点

- ・4月の看護師配置7対1体制に向けた看護師確保活動を展開した結果、61名の増員を図り申請基準をクリアーすることができた。

(看護師採用推進室共通目標)

項目	当初目標	実績
年間採用数	190名	182名
純増数	80名	61名

- ・部門内各業務のうち40項目のマニュアル・手順書を整備し共有化を図った。

3) 学習と成長の視点

- ・改正育児介護休業法、改正男女雇用機会均等法に伴う関連規定改正の研修会実施。
- ・女性活躍推進法に基づく行動計画についての研修会。
- ・各係担当者による自主プログラムによる研修会を毎月交替で実施。

【職員厚生課】

1. 2016年度評価

1) 財務の視点

- ・職場巡視活動は計画通り実施され、作業環境改善件数において前年を大きく上回る結果となった。

項目		件数	前年比
職場巡視回数	衛生管理者	57	+10
	産業医	16	+13
作業改善件数		10	+2
作業環境改善件数		82	+54

[上表の内訳]

項目	内訳	
職場巡視 目的別	化学物質（ホルマリン含む）	36
	労災	13
	作業室温関連	4
	健康被害情報	2
	S棟異臭	1
	新設事務所	1
	合計	57
作業環境改 善	化学物質関連	66
	騒音・温湿度環境・安全環境	12
	安全衛生教育	4
	合計	82
作業改善	化学物質関連	8
	病者の健康管理	1
	作業手順見直し	1
	合計	10

- ・長時間労働者のフォローを以下の通り実施した。

1ヶ月60時間以上勤務した職員を対象に健康状態の確認を実施。

実施期間	延べ対象者数	産業医面談数
4月～3月	120（前年比+20）	9（前年比-15）

- ・ストレスチェック制度義務化に伴い、当会規則策定により全職員対象に実施した。

実施期間	実施対象者	3,174
4月～3月	実施人数	2,345
	実施率%	74
	高ストレス所見	9
	産業医面談件数	0

2) 顧客の視点

・定期健康診断実施実績

対象者	受診数	受診率	有所見者数	有所見率(%)
3,753	3,732	99.4	2,130	57.0

・特殊健診

項目	対象者	受診数	有所見者数	事後措置実施者数	
深夜業		492	492	393	27
有機溶剤	1回	29	29	14	0
	2回	27	27	16	0
特化物	1回	21	21	17	3
	2回	19	19	8	1
電離放射線	1回	266	266	3	3

・メンタル相談(セルフケアサポートセンター)活動実績。

項目	件数	前年比
利用者数	146	28
職員本人相談数	104	20
管理職として部下の相談数	42	8
述べ面談数	779	79
メール対応	947	341
関係者ヒヤリング数	46	-12

・抗体検査及びワクチン接種の未実施者のチェックと実施。

項目	対象者	実施数	実施率(%)
入職者各種抗体検査の確認	446	446	100
麻疹ワクチン接種	92	88	96
風疹ワクチン接種	84	78	93
水痘ワクチン接種	42	36	86
ムンプスワクチン接種	104	84	81
3種混合ワクチン接種	289	284	98
B型ワクチン接種	209	206	99
QFT検査	442	442	100
QFT検査後フォロー	13	12	92
インフルエンザワクチン接種	2,973	2,961	100

- ・職員対象に院内WEBを活用し月1回「さんぽニュース」の発信を行い、職員への労働安全衛生に関する情報等を定期的に提供した。

3) 内部プロセスの視点

- ・メンタル不調による休職者の内、職場復帰支援プログラムにより26名の復帰支援を実施。
- ・「ストレスチェック制度実施規則」に基づき初回のストレスチェックを実施し、組織別・職種別の集団分析を行った。

職 種	対象人数	実施人数	実施率	産業医面談数
医師職	434	232	53.5	0
看護職	1,206	911	75.5	0
医療技術職	763	642	83	0
事技職	771	560	72.6	0
合計	3,174	2,345	74	0

4) 学習と成長の視点

心理カウンセラーによる階層別メンタルヘルス教育を実施した。

対象者	実施回数	内容
新人	5回	新入職メンタルヘルス
3年目	1回	入職後3年目のメンタルヘルス
指導職者	4回	指導職としてのメンタルヘルス
管理職者	4回	管理職としてのメンタルヘルス
希望者	2回	パフォーマンスマネジメント アドラー心理学講座

文責：高尾 博